



Lions Clubs International
FOUNDATION



ライオンズクエスト：青少年のためのライフスキル・プログラム 四大交付金 交付基準及び申請書

プログラム指針

I. 概要

1984年以來、各地の学校における青少年へのライフスキル教育を支援すべく、ライオンズはライオンズクエスト・プログラムをスポンサーしてきました。ライオンズクエストのカリキュラムは、同様のプログラムの中でも最も広く利用されています。30カ国語に翻訳されている本プログラムの影響範囲は幅広く、現在50カ国以上で実施されています。

交付基準概要

- LCIFからの75%の資金援助に対し、申請地区は総事業費の25%に当たる資金を調達する。
- 複合地区、または二つ以上の準地区が合同で申請する際の交付金の上限はUS\$100,000、単一地区または準地区が単独で申請する際の交付金の上限はUS\$25,000である。

II. ライオンズクエストとは

ライオンズクエストは、青少年（5～18歳）が健全なライフスタイルを送り、薬物を回避し、前向きなセルフイメージを形成できるよう必要なスキルを教える、学校用教育プログラム・シリーズです。ライオンズクラブ国際協会が1984年にプログラムを立ち上げて以来、年間150万人以上の子どもたちが多くを学んでいます。

ライオンズクエスト・プログラムは、それぞれ異なる年齢層を対象とした三つの問題行動防止プログラムを軸としています。「*Skills for Adolescence*（思春期への対応）」プログラムは最も広く用いられている教材で、10～14歳の生徒の自制力、正しい判断力、責任感を育てると同時に、目標を設定し健全な選択をすることについて教えます。こうしたスキルは、生徒たちが薬物やアルコールなどの悪影響を回避するのに役立ちます。

この他に、小学生の基本的な社会生活スキルを養う「*Skills for Growing*（成長期への対応）」（5～10歳対象）と、より成長した青少年にボランティア体験の機会を与えるとともに対立の解決法など重要なライフスキルを教える「*Skills for Action*（飛躍への対応）」（14～19歳対象）の二つのカリキュラムがあります。これら三つのプログラムが共に作用し、成人を前に重要な成長段階を通る青少年に働きかけます。

III. ライオンズクエストに対する四大交付金

ライオンズ複合地区、ならびに単一地区または準地区は、以下の目標のいずれかを達成するために四大交付金を申請することができます。

- **プログラム拡大交付金**：プログラムは既に実施されているものの、十分な数の学校に浸透していない複合、準または単一地区での範囲を広げる。あるいは三つのライオンズクエスト・プログラムのうち、その国または地区でまだ提供されていないプログラムを一つパイロットで実施する。拡大事業のためには、最大 US\$100,000 が交付される。
- **新たな国における実施（パイロット）交付金**：新たな国または地域でライオンズクエスト・プログラムを実施すること。実施事業のためには、最大 US\$25,000 が交付される。

プログラム拡大交付金：本交付金は、ライオンズクエストが数年にわたって実施されているものの、未だ十分な数の学校に浸透していない複合、準または単一地区（以下、「申請地区」）のために設置されたものです。この四大交付金により、ライオンズクエストの実施範囲を大幅に拡大し、プログラムが必要とされいながら未だ実施されていない地域のニーズを満たすことができます。

本交付金では、プログラムを取り入れる学校およびクラブの数を増やすだけでなく（横の拡大）、カリキュラムが一つしか実施されていない学区に他のカリキュラムを導入することもできます（縦の拡大）。交付金は、教員の研修、講師の研修、教材の購入や、その他の運営費に利用することができます。既存のライオンズクエスト活動を援助するための交付金ではないため、現在独力でプログラムを実施しているクラブは、引き続き各自で活動を行うようお願いいたします。プログラム拡大交付金の目的は、ライオンズクエストの現在の実施レベルを今よりもさらに大きく引き上げるための活動支援にあります。

プログラムの拡大または継続のため、追加の交付金を新たに申請する場合は、申請に**先立って**、過去に受け取ったライオンズクエスト四大交付金（同じ地区または複合地区に交付されたもの）の最終報告書を LCIF に提出していなければなりません。

LCIF は、最終報告書を十分に確認するための時間を取った上で、新たな申請について検討します。まず、最終報告書の内容に不備がないか確認します。問題がなければ、先行する交付金について LCIF が正式に終了手続きを行い、そこで初めて新たな申請の検討が可能となります。最終報告書に不備があった場合、あるいは十分な余裕を持って報告書が提出されなかった場合、新たな申請の審査手続きが遅れる場合があります。

なお、申請を連続して行うライオンズに対しては、申請の度に現地調達資金の割合（最低でも 25%）を増やすことが強く求められます。

新たな国における実施（パイロット）交付金：80年代中盤から始まり、ライオンズクエストは30カ国以上に広がりました。そして現在、それ以外の国のライオンズにも、四大交付金を利用して青少年奉仕の一環である本プログラムを導入する機会が与えられています。交付金は、カリキュラムの翻訳および改訂、教員および生徒を対象としたパイロット・ワークショップの実施、教材の制作および印刷、その他の初期経費に充てることができます。ライオンズクエストを初めて実施する国では、まずカリキュラムを一つだけ導入することから始めます。これには通常、10歳から14歳を対象とした「*Skills for Adolescence*（思春期への対応）」が使用されます。事業実施には、教育関連の省庁および／またはその他適切な教育関連当局（現地学校区、自治体の教育当局、教職員団体など）の承認と支持を得る必要があります。

IV. 財源および予算に関する注意事項

本四大交付金は、事業費の75%を上限として、二つ以上の準地区または複合地区が関与する申請ではUS\$100,000まで、単独の単一または準地区ではUS\$25,000までの資金を申請することができます。四大交付金の申請が検討されるためには、少なくとも二つ以上のクラブが申請に携わっていなければなりません。交付金を申請する地区は、現地で必要資金の25%を調達する必要があります（以下の例を参照）。

四大交付金最大申請金額

<u>総事業費</u>	<u>四大交付金最大申請金額</u>
US\$133,333	\$100,000
US\$100,000	\$75,000
US\$33,333	\$25,000*（\$25,000は\$33,333の75%）

* 現地調達分 = \$8,333

25%の現地調達資金源としては、クラブからの献金、現地の財団および福祉団体からの助成金、企業の後援、個々の学校からの出資などが考えられます。また、資金は事業実施中に調達することができ、申請書提出時に全額が集まっている必要はありません。しかし、現地調達分の一部は申請書提出の時点で誓約を確保しておいた方がよいでしょう。

現地調達分の資金が最低条件の25%を超えている事業は、優先的に考慮されます。

LCIF理事会は、申請地区が学校、福祉団体、政府、企業などからの追加資金を活用するよう奨励しています。他の資金源を利用する方法として、次のようなものがあります。

- 企業、現地機関、学区などに、ライオンズクエスト教材費の分担や、教員研修ワークショップ経費の補助を働きかける
- 青少年育成や当該地域に興味を持つ地域または民間の助成金提供財団に、共同出資を依頼する

- 教員研修ワークショップのための宿泊施設を無料または割引で提供してくれるようホテルや大学に交渉する
- LCIFからの交付金予算で教員を一人研修するごとに、もう一人分の研修費を自己負担で拠出することを個々のライオンズクラブに奨励する

事業予算に含めることのできる活動項目

プログラム拡大事業の場合

教員研修：四大交付金およびライオンズの現地調達資金によって、何百人という教員に研修を提供し、多くの学校にライオンズクエストを導入することができます。地区は、研修会場でボランティアを行ったり、移動手段、あるいは食事などの現地での手配を引き受けることにより、資金をより有効に活用することができます。通常、ワークショップは最高36人の教員を対象に2～3日間かけて行われます。

テキスト／教材：米国など一部の国では、教員用テキストの代金は教員研修費に含まれています。生徒用および保護者用（カリキュラムに含まれている場合）の本は別途購入する必要があります。これらが研修に含まれていない場合は、教材用に別途予算を組まなければなりません。

講師研修（国レベルの講師のみ対象）：実施国のコストを抑え、外部からのサポートなしでプログラムを運営できるようにするため、国レベルの講師の研修に四大交付金を利用することができます。関連経費も含まれます。該当経費については、LCIFライオンズクエスト課にご確認ください。

事務経費：予算には、クラブや学校への郵便代、ファックスおよび電話代、事業委員長の運営手当など、一定の事務経費を含めることができます。**事務経費は、予算全体の10%を超えないものとします。**

プログラム評価：事業予算には、事業の科学的調査および事例調査の経費を含めることができます。こうした調査から得られる情報は、プログラムの有効性を測ると同時に、LCIFが政府関連、教育関連、および非政府の機関などに提携を働きかける際、ライオンズクエストの実績を数値化する上で重要となります。評価は様々な方法で行うことができます（調査、アンケート、インタビュー等）。評価の資料に関する詳細はライオンズクエストのウェブサイトからご覧ください。

事業に伴う特定の経費（上記のもの以外）が対象になるかどうかについては、LCIFにご相談ください。

新規実施国／パイロット実施事業の場合

ライオンズクエストがまだ実施されていない国にプログラムを導入するために交付金を申請する地区は、ライオンズクラブ国際本部ライオンズクエスト課にお問い合わせの上、プログラムの企画および予算に関する指示を受けてください。一般的に、交付金はカリキュラムの翻訳および文化に即した改訂、初期デザインおよび印刷料金、サンプル校および地域におけるライオンズクエストのパイロット実施などを対象に交付されます。

事業予算の形式

事業予算案には、収入源および予想される経費をすべて項目別に明記し、LCIFの資金で賄われる経費とその他の財源によって賄われる経費を明確にしてください。予算は、1) 事業の継続期間を見越した上での事業全体の予算概要、ならびに2) 事業収入および経費の両方の詳細を記述した別添書類の二つで構成されます。収入額は、経費総額と一致していなければなりません。事業予算の作成または修正は、LCIF職員がお手伝いいたします。以下の予算例は、ライオンズクエストのパイロットおよび拡大事業の予算に慣例的または典型的に含まれる経費の種類を表したものです。

予算:

収入		経費	
XXX 地区（誓約または徴収済み）	US\$	ワークショップ（1）	US\$
学校出資分		ワークショップ手配（2）	
政府手当		教材（3）	
その他		講師費用（4）	
LCIF		印刷／改訂（5）	
		評価（6）	
		特別セミナー／会合（7）	
		事務経費（8）	
		その他（9）	
合計	US\$	合計	US\$

- (1) 計画されているワークショップの回数と種類（講師研修、教員研修ワークショップ等）を明記します。ワークショップ経費に含まれるものを項目別に記してください。各ワークショップへの参加者の数も提示します。

- (2) ワークショップの会場使用料、機材、文房具、飲食物等を、必ず項目別にして列記します。
- (3) 注文した教材名、数量、生徒用かワークショップ参加者用かなどを明記してください。教員用教材セット、生徒用ワークブックなどが含まれます。
- (4) 該当する場合は、講師謝礼金や、旅費、宿泊費、食費などの関連経費を明記します。
- (5) 該当する場合、印刷する教材、数量、改訂の予定について説明してください。また、印刷または関連サービスにかかる費用見積りを提出してください。
- (6) プログラムの評価を行うための経費を記します。含まれる項目と評価実施者を明記してください。
- (7) 保護者対象のワークショップや日常的な会合を含みます。予定されている会合の回数、目的、種類、出席者数と、必要となる資料があればそれも記してください。
- (8) この項目は、総事業費の10%を超えないものとします。項目別に明細を記します。
- (9) 上記以外の経費項目については、より詳細な説明と、LCIFによる審査が必要となります。プログラム実施における必要性と、明細を記してください。

事業管理：

申請地区は、ライオンズクエスト事業へのLCIF交付金を受け取ると同時に、大きな責任も負うこととなります。事業の成否は、交付金の運用、クラブや学校へのプログラム普及促進、そして事業活動のやりくり（教員研修ワークショップ、テキスト調達等）などを責任持って行う、優れた管理チームの存在にかかっています。

交付金の申請地区は、ライオンズ会員と、適切であればその他の市民団体や青少年育成関係のリーダーたちを含めた、事業委員会を編成するとよいでしょう。事業委員長には、教育者として、あるいは以前にライオンズクエスト関連活動をまとめた経験のあるライオンを立てます。複合地区の事業の場合には、各準地区から代表者が出て委員を務めます。人望のある教育当局者やプログラムに強い関心を持つ地域の指導者なども招請するとよいでしょう。しかし、まとまらないほど大人数にならないよう注意します。

LCIFライオンズクエスト四大交付金は、ライオンズの地区および複合地区が地域の学校と長期的持続的な関係を築き、健全な若者の育成を目的とする取り組みを支援するためのものです。ライオンズクエスト活動の究極的な目標は、若い世代に良い影響を与えることです。ライオンズクエスト教員研修ワークショップとカリキュラム教材は、あくまでこの目標を実現するための手段であり、これ自体を取り組みの最終結果と見なすべきではありません。このため、ライオンズの支援を受ける研修参加者を選ぶ際には細心の注意を払い、プログラムを実施する固い意思を示していることを確認する必要があります。これに加え、四大交付金を申請するライオンズには、研修を受ける教員および学校との関係を持続する、確固たる決意が必要となります。

ライオンズは、LCIFに交付金用途の報告とワークショップ経費の書類を提出することに加え、学校でのプログラム実施状況を追跡した上で、プログラム利用学校数、教員数、および生徒数に関連する基本データを収集することが求められます。

プログラム評価：

事業予算には、事業の科学的調査および事例調査の経費を含めることができます。こうした調査から得られる情報は、プログラムの有効性を測ると同時に、LCIFが政府関連、教育関連、および非政府の機関などに提携を働きかける際、ライオンズクエストの実績を数値化する上で重要となります。評価は様々な方法で行うことができます（調査、アンケート、インタビュー等）。評価の資料に関する詳細はライオンズクエストのウェブサイトからご覧ください。

事業委員長：

事業委員長は、申請地区のライオンズクエスト委員長が務めるのが理想的です（そうでなければ、少なくともライオンズクエストの共同委員長として指名することができます）。**事業委員長は、最低でも交付金を利用して活動する期間中は、委員長を務めなければなりません。**委員長は、すべての事業活動に責任を持ちます。その責務には、クラブとの連絡、学校の関心を集める戦略の決定、地区レベルのライオンズクエスト委員長との連携、教員研修ワークショップの手配、複合地区およびLCIFへの事業活動報告などがあります。事業委員長は、プログラムに対する深い関心と、活動に割ける時間を持ち合わせていなければなりません。万一委員長が事業を担当できなくなった場合に備え、ライオンズクエスト事業共同委員長を立てておくといよいでしょう。

交付金管理責任者：

LCIF 交付金と現地事業資金は、事業委員長および交付金管理責任者が共同で管理します。交付金管理責任者は、交付金が承認された時の協議会議長または準／単一地区の地区ガバナーが務めます。交付金が二年目に突入した際には、次期協議会議長に権限を委任することができます。事業委員長と交付金管理責任者は、ガバナー協議会の検討を受ける財務報告書を作成し、それを半年に一度 LCIF に提出しなければなりません。

「良い」交付金申請書とは：

事業管理の構造、実施校を特定し関与を促すための仕組み、クラブの関与を統制する基準、そしてタイムラインに沿ったプログラム実施の行動計画などが具体的に示されているのが、良い交付金申請書です。行動計画には、ライオンズクエスト・プログラムを事業の時間的枠組み内で費用効率よく実施するための、測定できる具体目標が設定されていなければなりません。たとえば、1年目に100人の教員を研修する、2年目には250人研修する、などの目標です。交付が決定した場合、資金は事業の成果に合わせ分割で支払われます。また、申請地区はニーズが最も大きい地域を特定し（低所得地区の学区等）、特に大きな注意を払うべきです。

交付金申請手順：

提出された申請書について、LCIF 人道主義プログラム援助金交付課がライオンズクエスト課との協力のもと予備審査を行います。予備審査では、申請事業が最低条件を満たしていること、綿密に計画されていること、教員研修の基準に見合っていること、その他技術的な面を検討します。この段階で、申請内容の説明や修正が求められることも多々あります。すべての問い合わせに納得のいく答えが出され、懸案事項がすべて解決するまで、申請は保留となります。

すべてが解決したら、予備審査を通った申請事業は年に3回定期的に予定されているライオンズクエスト諮問委員会（LAC）会議にて検討される資格を得ます。申請の締切りは、LAC 会議開催の60日前です。具体的な締切日については、LCIF にお問い合わせください。提出先は、LCIF 人道主義プログラム援助金交付課です。

V. ライオンズクエスト四大交付金交付基準

1. 交付金は、単一、準、または複合地区での取り組みを対象とします。ガバナー協議会または関与する各地区のキャビネットが署名の付いた決議案を提出し、プログラムを長期的に支援・推進することに複合地区または単一／準地区として合意している旨を示さなければなりません。
2. 四大交付金は、複合地区または二つ以上の準地区の場合は US\$100,000、準地区または単一地区の場合は US\$25,000 を上限として、総事業費の 75% まで申請することができます。申請者は予算の 25% にあたる資金を現地調達しなければなりません。資金の現地調達は、必要な現地資金を確保するという確固たる意思があることを前提に、交付期間を通じて行うことができます。交付金が承認される以前に行われた、または完了した活動に対しては、交付金を申請することはできません。払い戻しの形での交付は考慮されません。
3. ライオンズクエスト・プログラムが現地の教育関係者の関心を得、受け入れられ、実施に同意していることが確かな場合、またプログラムが現地の学校システムに対応している場合にのみ、事業が検討の対象となります。こうしたサポート体制があることの証明として、学校関係者や大学関係者、政府／非政府当局等と交わした手紙などの通信文書を提示することができます（ただし、これに限定されない）。
4. 申請書には、申請する複合地区やその地域に存在する児童および青少年の問題を説明したニーズ分析を含むものとします（こうした情報は多くの場合、当該地域における教育関連省庁や児童関連官庁で入手することができます）。地区の青少年関連の課題は、学校を基盤とする薬物乱用防止、暴力行為防止、人格形成教育、ボランティア活動およびサービ斯拉ーニングなど、ライオンズクエストの内

容に関連する問題でなければなりません（健康診断やスポーツ活動など、他の青少年関連事業と区別するため）。

5. ライオンズ会員と、教育関係者、保護者、自治体代表者、地域の指導者などの協力者から成る、運営委員会の編成が必須となります。委員会は、プログラム実施の成功を目指し、監督し助言を行います。
6. 申請地区は、ワークショップの企画や教材の手配、評価、報告など、交付金に関連するライオンズクエスト活動の全体的なコーディネーターを務める事業委員長を任命するものとします。事業委員長は、運営委員会の長を務め、最低でも交付金を利用して活動する期間は、任務を全うしなければなりません。事業委員長と交付金管理責任者（承認時の協議会議長または単一／準地区ガバナー）が連携して交付金を管理します。
7. 二つ以上の準地区が合同で申請を行う場合は、そのうちの一つの地区を主な申請地区として指定してください（申請書における記録上の申請地区）。
8. 申請地区は、プログラムの普及促進にライオンズが広く関与することと、クラブが長期的に関与を続けることを保証しなくてはなりません。例えば、ライオンズ地区や複合地区の行事におけるライオンズクエスト推進活動や、PR プログラム、クラブが地元の学校の「里親」になる制度など、計画を申請書で詳しく説明します。四大交付金事業の予算には、PR やプログラム支援活動のための資金として妥当な金額を含めることができます（一般的に、総事業費の10%を超えない金額）。
9. 現地ライオンズがすべてのライオンズクエスト関連ワークショップ、研修プログラム、特別行事などに出席することを保証する必要があります。
10. 申請書には、事業のフォローアップ実施に関する戦略を含めてください。申請地区には交付金事業の報告義務の一部として、研修や教材の助成を受けた学校におけるプログラム実施状況を追跡した上で、プログラム利用教員数およびライオンズクエスト受講生徒数のデータを収集することが求められます。

VI. 交付金申請（申請書式のガイドライン）

注意事項：

- 交付金申請手続きを始める前に、ライオンズクエスト四大交付金交付基準及び規定をよくお読みください。
- 申請書は、以下に示されたフォーマットに従い、各項目の番号に対応するよう作成してください。

- 申請書は、ライオンズクエスト諮問委員会会議の少なくとも 60 日前までに、LCIF 人道主義プログラム援助金交付課までご提出ください。
- 承認署名のページを含む交付金申請書と関連書類を、下記までご送付ください。

Lions Clubs International Foundation
 Attn: Humanitarian Programs Department
 300 W. 22nd Street
 Oak Brook, Illinois 60523-8842

申請書式

1. 申請書作成年月日： _____
2. 事業名：（例：ライオンズクエスト新規実施国導入事業、または拡大事業など）
 複合地区／単一地区名： _____
3. 記録上の申請地区*： _____
4. 申請金額： US\$ _____

*注：二つ以上の準地区が申請する場合、一つの地区を記録上の主な申請地区として指定する必要があります。

ニーズ調査／現状

5. 対象となる地域の青少年が直面している重大な問題、特に地域全体に共通する課題と、問題行動に走りそうな青少年の数が特に多い地域の抱える課題について、説明してください。（多くの地域や自治体の関係機関が、青少年育成に関する報告書や統計を管理しています。ウェブサイトから情報をダウンロードしてください。）
6. 申請地区における年齢層別児童数のデータ
7. 複合地区または単一地区でライオンズクエストが実施されている場合、プログラムを使用している学校数と、現地の学校でライオンズクエストの実施を継続する上での有利な点と制約を分析し、手短かに記述してください。

目標及び目的：

8. ライオンズクエスト拡大に向けた申請地区の計画における目標および目的をまとめて記述してください。これには、交付金事業実施期間（2年から3年）に達成する事項の説明と、研修する教員およびプログラムを導入する学校の具体的目標数を含めます。
9. 前述の目標を達成するための行動手順と戦略をまとめてください。以下の要素に関して説明します。
 - 1年目のパイロット実施計画（策定されている場合）
 - 学校においてライオンズクエストへの関心を高める戦略
 - 地元ライオンズクラブとの連絡に関する戦略および行動計画
 - ニーズの高い地域（低所得地域の学区など）への働きかけに関する計画
 - 参加クラブおよび学校の基準（拡大事業の対象となるクラブおよび学校をどのように選ぶか）
 - 参加に同意した学校および／またはライオンズクラブのリスト（学校が特定のカリキュラムを選択した場合、それも併記）。これらの学校は、特に学校が拠出金を一切出さない場合、教師が研修を受けたらプログラムを必ず実施するとの同意書にサインする必要があります。
 - 参加校維持のための戦略および行動計画

行動計画には、上記に加え、各ステップの時間枠およびスケジュールを含めてください。

10. 運営委員会：ライオンズ事業運営委員会の構成および職責をまとめてください（クラブおよび準地区レベルの委員会があれば、それについても記述）。全構成員の氏名および役職を列記します。ライオンズ会員、非会員を問いません。

財務：

11. 経費：教員研修に見込まれる経費と、事業PR、事務経費、フォローアップなど予算項目について概要をまとめ、説明してください。
12. 収入：ライオンズクラブおよびライオンズ以外の財源（学校やその他の機関等）から調達予定の資金、または調達済みの資金を含む、現地調達資金について概要を記述してください。
13. 事業予算案を添付してください。事業への資金源についてはそれぞれ別個に記載します（クラブ、地区、地域、その他の団体など）。各財源からの資金（あるいはその一部）について、徴収済み、誓約、見込みなどの状況を書き添えてください。

申請書の証明及び承認の署名

14. 申請書証明：複合／単一または準地区は、それぞれ複合地区協議会または地区キャビネットより証明を受けなければなりません。これは、交付金を申請するとの決定が承認された協議会会議またはキャビネット会議の議事録のコピーをもって示す必要があります。二つ以上の準地区が合同で申請する場合、各準地区が当該キャビネット会議の議事録を提出します。交付金が承認された時の協議会議長または単一／準地区ガバナーが、交付金管理責任者を務めます。

協議会議長または地区ガバナーによる証明

私の知る限り、ここに提示された情報は正確であり、プログラムの必要が記述されたとおり存在します。私は、本申請書を承認するとともに、助成資金が交付された場合には、適切かつ効果的な資金運用、適切な会計処理、ならびにライオンズクラブ国際財団への定期的な報告が行われるよう、全力を尽くします。

(ここに署名)

協議会議長／地区ガバナー／記録上の申請地区ガバナー氏名* 地区名
(楷書および活字体ローマ字で記入)

住所

電話番号、FAX 番号、Eメール

事業委員長氏名 (楷書および活字体ローマ字)

署名

住所

電話番号、FAX 番号、Eメール

*本合同申請書における記録上の申請地区ガバナーとして、

_____ 地区の _____ 地区ガバナーを指名いたします。

署名

_____ 地区 地区ガバナー _____ 地区 地区ガバナー _____ 地区 地区ガバナー

お問い合わせ

ライオンズクラブ国際財団

KaSondra L. Byrd (カソンドラ・バード)

人道主義プログラム援助金交付課課長

Humanitarian Programs Department

300 W. 22nd Street

Oak Brook, IL 60523-8842 USA

電話: 1-630-468-6826 FAX: 1-630-706-9179

Eメール: KaSondra.Byrd@lionsclubs.org

Matthew Kiefer (マシュー・キーファー)

ライオンズクエスト課課長

Lions Quest Department

300 W. 22nd Street

Oak Brook, IL 60523-8842 USA

電話: 1-630-468-6965 FAX: 1-630-706-9289

Eメール: Matthew.Kiefer@lionsclubs.org

ライオンズクエスト・プログラムに関する詳細および最新情報は、ライオンズクエストのウェブサイト (www.Lions-Quest.org) よりご覧いただけます。